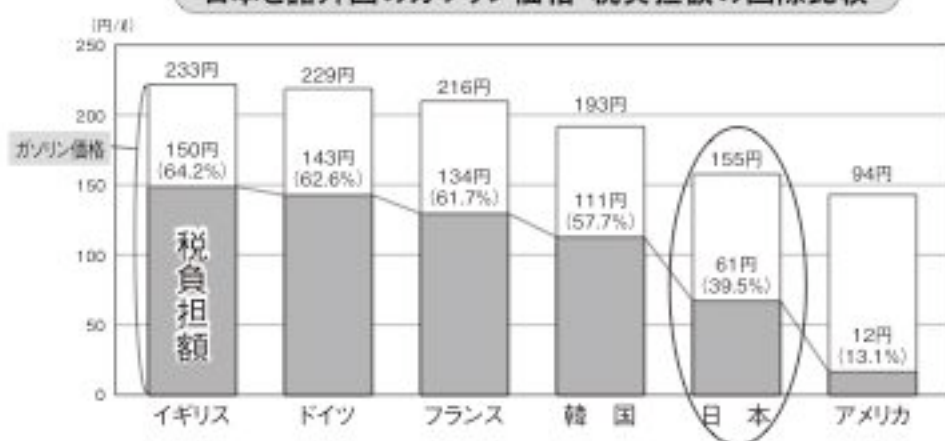


Q4 もっと税率が高い国も多いと聞きますが。

水野 先進国が集まっているOECDという組織がありますが、その加盟国29か国の中で日本のガソリン価格は安い方から6番目です。ヨーロッパにはガソリン1リットル200円を超える国も多くありますが、これは消費税が高いことに加えてガソリンにかかる税金も高めに設定しているからです。温暖化防止のためにも価格を高くすることで省エネを促したり代替エネルギーへのシフトを図っているわけです。地球温暖化がこれだけ大きな問題になり、7月の洞爺湖サミットでもそれが最大のテーマとなる中で、日本だけが値下げをしてガソリンを使いやすい社会にしてしまうのは大きな逆行だと思います。

日本と諸外国のガソリン価格・税負担額の国際比較



(注) 2007年11月時点IEA調べ(韓国は2007年4月～6月時点、日本は直近(石油情報センター調べ、2007年12月第3週))

地球温暖化とガソリン税

ガソリンの税率を下げるということは、ガソリンを使いやすい社会を作ることにつながる。そのため二酸化炭素排出を増やし結果として地球温暖化を加速するという指摘もある。国立環境研究所の試算ではガソリン25円、軽油17円の値下げは国内の年間二酸化炭素排出量を800万トン増加させるとしている。800万トンの増加というのは1000万台の乗用車が普通のガソリン車からハイブリッド車に置き換わった省エネ効果を帳消しにするほど莫大な量といえる(実際の平成18年度のハイブリッド自動車の国内での普及は34万台)。

Q5 道路にしか使えないという法律を作ったのは田中角栄元首相だったそうですね。

水野 ガソリン税は昭和24年にできましたが最初は何に使ってもよい税金だったのです。それを昭和29年に当時まだ若手議員だった田中角栄氏が主導して全額を道路に使うという議員立法を行ないました。その時代は戦後まもなくだったので「道路なくして復興なし」という掛け声のもとこうした法律を作ったこともまあ理解できますが、それから50年以上たった今では制度改革が必要です。特定財源というのは結局は「税金があるから使い切るまで道路を作る」ということになってしまい無駄使いの温床になるからです。ようやく今年から政府・与党も税の一部を道路以外にも使うことを認めましたが、こうした改革をもっと推進していくべきです。(注)

(注) 税金の全額を道路整備に使うことを定めた道路整備費財源特例法という法律は平成20年に改正される。しかし改正後も「道路が優先。余った分は他にも使う」というものであり、より徹底した改革が求められている。

お知らせ

- 自民党機関紙「自由民主」購読ご希望の方はご連絡ください。自民党本部が発行している週刊の機関紙で毎号だいたい12面まであります。毎週火曜日発行。政治の現状、自民党の取組みなどの格好の情報源となっています。購読料は税・配送代込みで年額5千円です。
- 自民党へ入党ご希望の方はご連絡下さい。党費は年額4千円です。入党すると党員証が発行され、自民党総裁選の時に一票を投じることが出来ます。なお入党することと機関紙購読は別の手続きになっております。そのため入党したからといって「自由民主」が毎週送られてくるわけではなく、逆に「自由民主」を購読したからといって党員となるわけではありません。
- 政治献金募集 政治活動を支えるための献金を募集しております。いただいた浄財はこの「水野けんいちレポート」の印刷・新聞折込費などに充当します。ご連絡いただければ幸いです。
- ご連絡先：自民党千葉県第九選挙区支部
TEL. 043-463-2400
FAX. 043-463-0475 まで

「水野賢一ホームページ」<http://www.catv296.ne.jp/~mizunokenichi/>

千葉県第9区



水野賢一 プロフィール

- 昭和41年7月21日生まれ
- 早稲田大学政治経済学部卒業
- 衆議院議員水野清秘書
- 平成11年衆議院議員に初当選(現在4期目)
- 平成13年自民党青年局長に就任
- 平成14年外務大臣政務官に就任
- 平成16年自民党環境部会長に就任
- 平成18年法務副大臣に就任
- 現在、法務・農水各委員会所属